

臨床研究協力に関するお知らせ (臨床研究名：地域包括ケア病棟における薬剤師の介入とその効果)

脳神経筋センターよしみず病院では現在、臨床研究「地域包括ケア病棟における薬剤師の介入とその効果」を行っています。

本研究は、通常の診療で得られた情報（電子カルテなど）から必要な情報を取り出し、まとめることによって行われます。これらは疫学研究に関する国内の関連法規に従って行うものであり、脳神経筋センターよしみず病院倫理審査委員会の承認を得て行っております。また、このような研究は厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接ご同意をいただかずに実施することができますが、研究内容の情報を公開することが必要とされています。このお知らせをもって研究内容の情報公開とさせていただきますので、ご理解いただけますようお願いいたします。

なお研究を行うにあたっては、個人情報の取り扱いに細心の注意を払い、研究以外の目的でこれらの情報を用いることはありません。また得られた結果は個人が特定できないような形で学会や論文等の手段によって広く公開する予定です。

研究課題名

「地域包括ケア病棟における薬剤師の介入とその効果」

研究機関の名称および研究責任者の氏名

- ・研究責任者、情報管理責任者 脳神経筋センターよしみず病院薬剤部 川崎 美紀
- ・共同研究者 山口東京理科大学 有海 秀人

本研究の意義、目的

地域包括ケア病棟は、高齢者や多疾患併存患者を対象とし、急性期から回復期、在宅支援までを一貫して提供する医療・介護の拠点である。多職種連携のもと、患者のQOL向上や再入院予防を目的としたケアが行われている。

薬剤師は薬物療法の適正化や副作用の予防、患者の服薬アドヒアランス向上に重要な役割を果たしている。しかし、地域包括ケア病棟における薬剤師の具体的な介入内容や、その効果についての実証的なデータは限定的である。

本研究は、地域包括ケア病棟における薬剤師の介入実態とその効果を明らかにすることにより、薬剤師の介入が患者の安全性やQOLの向上、再入院予防に寄与する可能性を示し、多職種連携の強化や薬剤師の業務拡大に資する基礎資料となることが期待される。

本研究に使用する情報

診療録のデータを使用します。

本研究の方法

地域包括ケア病棟に入院した亜急性期医療・ケア患者について、患者基本情報（年齢、性別、疾患名、既往歴、血液検査結果、服用薬剤、ADL、入院期間、イベント等）、薬剤師の介入内容（高齢者薬物療法適正化カンファレンスの実施有無、薬剤総合評価調整加算・調整加算の算定件数、退院時カンファレンス参加、薬剤管理サマリー発行、返書の内容、疑義照会、代行入力）、退院形態やフォローアップ状況を調査します。

調査対象

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の間に脳神経筋センターよしみず病院地域包括ケア病棟に入院された患者さん

研究期間

2025 年 6 月～2027 年 3 月

研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスクおよび利益

既存の診療情報の利用のみであり、プライバシーの保護についても十分に配慮されるため、新たに発生する不利益並びに危険性は想定されません。また、対象者個人に対する直接の利益も想定されません。

研究実施について同意しないことおよび同意を撤回することの自由について

ご自身の診療情報が本研究に利用されることにご同意いただけない場合には、研究に使用する情報からあなたにかかる情報を削除いたしますので、2025 年 8 月 31 日までに本研究に関するお問い合わせ先にご連絡いただけますようお願いいたします。また、情報の削除依頼をしたことにより、不利益な取扱いを受けることはございません。

本研究に関する情報公開の方法

この掲示により本研究に関する情報公開といたします。研究結果の公開については学会発表・論文投稿などにて行う予定であります。

お問い合わせ先

本研究に関するご質問や研究への利用の拒否の希望等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

担当者：川崎 美紀

所在地：〒751-0826 山口県下関市後田町1丁目1番1号

実施機関名：脳神経筋センターよしみず病院 薬剤部

電話番号：083-231-3888 FAX：083-231-7957

e-mail：hosp@akn-yoshimizu.com